

改正
自前

白澤年代記 八

卷之八

後鳥羽	後堀河	後深州	伏見	花園	光明	後圓融	漢
寺門	四条	龜山	後伏見	後醍醐	崇光	後小松	宋の孝宗の淳熙十
湖徳	後嵯峨	後宇多	後二条	光厳	後光嚴		一年より明仁成祖乃永
							樂十年より





改正和漢年代紀卷之八

元暦

八 後鳥羽

諱ハ尊成高倉の甲辰六月周必大と樞密使
院才四北皇子母と

贈左大臣信隆の娘七条の院殖子とい世位は在り十五年○
正月十日受件征東大將軍に任ず同廿日頼朝の代官範頼受

經六万騎と率して受件と討受件宇治勢田と防ぐとい
と兵共潰へ都と渡り栗津が原にて流矢に中り死す受經京

よ入る○同廿九日範頼受經平家追討のころ京とい代○二
月七日摂別一の谷合戦平家敗戦して通盛忠度受經改

敦盛以下討死し重衡生捕る九日受經股洛○七月廿八
日即位○十一月十八日大嘗會○元祿六年辛未五百十年より

文

二月十八日受經阿波に渡る十乙巳二月胡服と著て粟田の十三

受件
年正一



受件
年正一

十 瀬の勢の勢

九月讚岐八嶋合戦。平家没落す

樂と奏すこと禁す

○三月廿四日長門國の浦合戦。平家敗軍。二位乃尾。安徳天皇
皇と懐て海に没じ女院。りびに宗盛。清宗。時忠。生捕し平家
残らずはるぶ。○四月廿五日神奈川侍所。都に敗る廿六日宗盛。以
け京に入る法皇。河津。同廿七日頼朝。從二位に叙す。○六月廿
三日。美經。近江の篠原にて宗盛。親子と斬る。同日源の頼兼。南
都にて重衡とさる。○八月廿八日東大寺大僧の閑眼。○十月頼朝。土
佐房。昌俊と使し。美經と討し。美經。昌俊と殺す。○同十八日
美經。強て頼朝。追討の院宣と賜り。十月十三日西國に赴き
大物の浦にて難凡。のり。○十二月廿八日頼朝。諸國に總追捕使たり

二 三月十二日九条北兼家。攝政たり。○丙午五月。處女。郭雍。願正。十三

五月十二日左馬頭能保。和泉之源
乃行家と殺す。頼朝。能保と京都の守護しす。○
先生乃号とさる。ハハ

二月新
御書
御書
御書

三 二月廿八日姑。記録取と置る。○九月未。皇子。小宮と復る。○九月。十四

月廿日入道俊成。十載集と撰て
進る。○十月廿九日。奥列の秀衡。死す。遺言して。美經。國務奉行に

四 二月十日。秀衡。子共と。劉経と討
べき。一。此。宣。旨。に。家。始。遣。者

五 二月廿二日。法皇。天王寺へ百日
己酉。正月。金の世宗。死す。隠

御参籠。○四月廿日。大門。東。造。宮の
事。始。○四月。晦。日。奥。列。を。泰
衡。美經と。衣。河。乃。館。に。圍。じ。義
経。自。害。す。○七月。十九日。頼朝。泰衡
對。決。す。○八月。奥。列。を。向。○九月。三日

泰衡。家。親。の。河。田。の。次。郎。を。殺。す。泰衡。が。と。く。俊。衡。季。衡。高
衡。降。参。す。○十一月。十七日。月。の。輪。乃。兼。家。を。政。大臣。に。任。す

長四程

四廿
第百第
ヨリカレ
禪法塔

院中
政行四

十年

十月
ト内
ヤカ
カトス
托色

建 正月三日帝所入服兼実娘任
久子と女所しす○十月朔法皇日
吉の社とて千僧供養○同十九日
東大寺の棟上○十一月七日頼朝浴
よ入る大御言よ任ト右大将兼
十一月十四日鎌倉よ入る

二 九月禁中の梅花さく○十一月十
七日兼実攝政と辞しく閑白し
かろ○同廿六日守貞親王入服○
同十一月十七日徳大寺の左大臣実
定死す **年六十二**

三 三月十一日後白河院崩御壽六
十六○七月十一日頼朝征夷大将軍
子 十一月帝始て上皇よ
重花宮よ朝す

四 正月帝所危瘡○四月三日頼朝那
須野よ狩す○五月十六日富士野よ美狩す廿八日祐成特宗父の
敵祐経と討六月七日頼朝鎌倉よ入る○七月廿四日淡路より足
九つ馬とさくく○八月十七日範頼と伊豆よ流す **後ろ教**

五 閏八月廿七日大地震○九月廿二日甲寅
真福寺に再興造営の供養
●西夏六祖宗天慶元○
六月孝宗崩す○七月
帝位と太子よゆづる

六 三月四日頼朝御臺政子頼家と
具し七上洛○同十二日東大寺供
養帝幸頼朝供養す○六
月廿五日頼朝鎌倉よ入る○五月
廿日土御門よいしまる

才 先宗 子リリ在位五
年●大金才章宗 明昌
元○二月列先世道学
と説談者と禁むんし
○七月皇是と左丞相す

十一月帝天地と合せ祭る
大に雨凡起り黄壇乃
燭きゆり皇后兼て帝此
貴死と忠すと怒じ
私よ貴死と殺す

十一月帝始て上皇よ
重花宮よ朝す

●西夏六祖宗天慶元○
六月孝宗崩す○七月
帝位と太子よゆづる

才 寧宗 子リリ在位
元年○正月白虹日と
相乃趙汝愚やあらる

元年○正月白虹日と
相乃趙汝愚やあらる

七

四月廿五日三奈左大臣実房出家
○十月兼実。関白と辞す近衛の
基通。関白とかなる

丙辰

金承安元○十月朱子
乃官と能く茶元定と
道別よなぐす

二

八

八月廿五日大凡大内○九月十日
順徳院。じましあふ

丁巳

八月大祖十世乃孫真
愿と官中よ育ひ名と
願と官中よ育ひ名と
願と官中よ育ひ名と

三

九

正月十日為仁親王と大子と同日
位と譲らあふ○二月十四日皇八幡
幸。同日西行。寂す○三月三郎
位○十月廿一日大とやうあ

戊午

八月大祖十世乃孫真
愿と官中よ育ひ名と
願と官中よ育ひ名と
願と官中よ育ひ名と

四

正
三

八
御門
乃皇子母八内府通
親の養子。在子しつ実ハ法印能
四が根かり位よ在し十二年○正

己未

五月統天曆と行ハ八
月帝。始て上皇よ壽
康宮よ朝す○十二月
諸国。大水

五

二

正月廿日清見が関と景時と殺す一
門。誅せらる○四月十五日守成親王と
太子とと○七月十八日左府兼雅死す

庚申

三月藤子死す文公と謚
と○八月光宗。崩す

六

建
仁

正月廿三日の夜城の四郎永茂。禁
中よ乱入。奥東追討の宣旨と轉
す許しあふす永茂。逐電一ニ
月廿二日吉野。と誅せらる

辛酉

金泰和元○二月信安大
燒○八月乃重西遠と
云す西遠四代七十七
年よてはらふ

七

二

七月廿二日頼家征夷大將軍。佳す
○九月廿一日頼家。伊豆駿河よ狩と○十一月左府良經。極政とたり

壬戌

五月陳自強と若丞相とす

二

三

六月三日頼家。宣旨よ狩し新田

癸亥

五月陳自強と若丞相とす

三

十月捕家
連三位叙

四月
名後
發極
生名

二月
二月
二月

二月
二月
二月

二月廿五日
 三月廿五日
 四月廿五日
 五月廿五日
 六月廿五日
 七月廿五日
 八月廿五日
 九月廿五日
 十月廿五日
 十一月廿五日
 十二月廿五日

忠常上人元入心○同廿三日阿野比法橋全成とす○
 八月廿七日頼家病より奥東廿分月と子の二備君より奥西北
 分隊と考て実朝よゆら○九月二日北条時政一備君と比企の
 能貞と殺す七日頼家出家十七日実朝征夷大將軍に任ず
 廿九日頼家伊豆の修禪寺に遁る

元 二月廿五日 皇天孝子 辛酉 ○七月 甲子 正月 韓佐賢 金と
 久 八月廿八日 頼家 害せらる 年廿三

二 正月三日 帝 御衣 服 ○建仁寺 毀し 亡
 新しす ○三月廿六日 院 宣より 有家 定家 家隆 木 新古
 今集と撰て進る ○六月廿二日 北条 時政 畠山 重忠と殺
 す ○同 七月十九日 時政 出家 其 京より 朝 雅とす

永 三月七日 杉政 良経 の 寝 飛 天 丙寅 ○西夏 七 襄宗 天
 形より 捨て 良経 と 突殺す 大元 一 大祖 蒙古 部

源 流
 二月廿五日
 三月廿五日
 四月廿五日
 五月廿五日
 六月廿五日
 七月廿五日
 八月廿五日
 九月廿五日
 十月廿五日
 十一月廿五日
 十二月廿五日

何人の所為とすと云れども○同
 十日 近衛の家実 杉政とす ○
 十二月八日 家実 関白とす

の人也 姓 八 赤 渡 湯 名 八
 鉄木 真 初て 帝 と 稱
 一 国 と 元 と 号す

元 四月五日 九条の兼実 逝去 月 丁卯 臘と天子より 名代 三
 の 輪 殿 と 号す 詢とわす

二 七月廿五日 能野の幸 ○九月十四日 戊辰 十月 金の章宗 崩す 嘉
 能谷 蓮生 黒谷より 往生 ○同 廿七 永濟 氏

三 三月 道徳 大臣 号す 巳巳 大金 珠 東海 侯 大安 元

四 五月十七日 皇 能野の幸 ○八月 庚午 西夏 皇 建元 ○八月 西夏
 帝 春日の社に幸 ○九月 晦 禁 金の 殺 別と 侵す ○十
 皇 西より 長と 三 文 余 ○十月 廿 二月 蒙古 金と 侵す

五 帝 位と 右子より 治り 新院と 稱せらる 十月 其 日 即位

建曆

八 順徳院

院才三ノ皇子母ハ

辛未

●西夏ハ神宗親定元○四月

四

贈左大臣範季比娘修明院

九月金蒙古と協せいで敗軍す

重子といふ位に在り十二年○五月廿六日外祖

範季子正位

五

左大臣と贈らる○九月十五頼家ノ子

正成君出家法名公曉

五

二

正月廿五日法然上人遷化○六月実朝

壬申

金蒙元

●後堀河ハ

五

朝院ノ心裡と造る○十月十二日大嘗會

●後堀河ハ

六

建保

二月泉北小二郎親平謀反す十

癸酉

●金蒙元八月胡沙虎

六

六月謀反ノ輩三ノ捕る○五月二日

東海侯と弑して殉と

六

和田ノ一族謀反し実朝ノ館と

●大金ハ宣宗

七

放火と放てたり三日茂盛討死

●大金ハ宣宗

七

●余黨敗軍し舟に乗て安房にゆく○八月三日山後長承

●大金ハ宣宗

七

寺に居て勅し逆官軍攻て北余人を捕る

●大金ハ宣宗

七

二

四月十音山ノ衆後三井寺とや

甲戌

●五月金蒙元

七

三

正月六日時政伊豆比叟山と死す

乙亥

●五月金蒙元

八

○六月音建仁寺ノ榮商遷化

●五月金蒙元

八

四

十一月廿四日実朝渡唐ノ望ゆへ

丙子

●二月外燔死す

九

宋ノ陳和つよ入船と造し

●二月外燔死す

九

五

四月十七日唐船と造畢て由比ノ

丁丑

●金蒙元

十

浦に浮れども動ず後と擧る

●金蒙元

十

六月廿日公曉と鶴岡の別當とす

●金蒙元

十

六

十月九日実朝心大臣に任す○同

戊寅

●十二月金蒙元

十一

十日皇子懐成生る同十三日実朝

●十二月金蒙元

十一

乃母政子に從二位と授らる○十一

●十二月金蒙元

十一

月廿六日懐成と太子とす○十二

●十二月金蒙元

十一

月二日源乃道家左大臣に任す

●十二月金蒙元

十一

建保

建保

建保

癸

正月廿七日実朝鶴正を矢を誦す

己卯

六月宋の益宗政大に十二

久

別當公曉石橋の除を實朝と害す長尾定景公曉を誦す

己卯

六月宋の益宗政大に十二

二

二月廿六日後差威ひまらふ○三慶辰

宋の益宗政

金大師十三

二

二月廿六日後差威ひまらふ○三月十三

日祇園の殿

○四月十三

三

四月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

三

三月廿日位と天子を禪りまらふ○五月十五

五月十五

後鳥羽院官軍と遷

十一月○正月三日帝御衣服○

形八鹿尾八馬一日

應

八 後堀河

の孫守貞親王の

幸

金元元の大祖

十五

子なり母中納言基家之娘

角端獸といふ獸あり

北白河院陳子といふ位に在

回々国と己し進で

天竺の鉄門関は次

天子の鉄門関は次

天子の鉄門関は次

天子の鉄門関は次

十月廿二日大嘗會○元祿六年
まで四百七十二年よとよぶ

一万八千里ゆへ大祖こ
れとて師とくへす

二月廿三日三條公房の娘有子
中宮す○五月十日守自親王

癸未

●西夏九叔宗乾元○十六
三月元の不花黎死す

崩す後高倉院と諡す○十二
月晋近衛の家実・関白となり

甲申

●大金九叔宗正元○十七
八月帝崩す

五月十三日相沢浦々々大魚故り
して死す○六月十三日爰時死す

乙酉

●西夏十才魁乃元
在位四十年

泰時・録第よ下りて執權と結時氏
時盛と兩六とらとれ

丙戌

●西夏十才魁乃元
在位四十年

三月廣田の前北海水血色あり
○七月十日二位の元死す○十二月

乙酉

●西夏十才魁乃元
在位四十年

正月廿七日征夷大将軍・任す
廿九日鎌倉の頼経元服

丙戌

●西夏十才魁乃元
在位四十年

正月晦日徳大寺に公継死す○二
月関自家実の娘・長子と中宮す

丁亥

●西夏十才魁乃元
在位四十年

百九十年よとよぶ○十二月元乃大祖
崩す壽六十六

戊子

●西夏十才魁乃元
在位四十年

二月廿五日南都の悪僧・後武乃峰
と焼○十二月光明寺道家・関白

己丑

●西夏十才魁乃元
在位四十年

二月十六日女御・輝子と中宮と
六月九日信濃の大雲○十月炎冬

庚寅

●西夏十才魁乃元
在位四十年

多く熟し草木・花凋き筆・生
○十二月廿九日・関白・基房死す

辛卯

●西夏十才魁乃元
在位四十年

二月十日秀仁親王・生まれぬ
月・教実・関白となり○十月十日

壬辰

●西夏十才魁乃元
在位四十年

小宗後
守元傳上
信元傳上

河内之隱阿波之崩河壽北七〇十月廿二日西園寺の公
經出家准三宮の宣旨〇同廿八日秀仁親王と太子と

貞 正月十五月明惠上人達化〇八月十日辰
日北条未時成敗の式目と定む
〇十月四日位と太子と讓ふ教
実抄改と成り〇十月二日即位

天 八 誦八条仁先帝の癸巳
道家の娘藻壁門院輝子と子
位と在し十年〇五月廿九日近衛の基通死す普賢寺と
号す〇九月八日藻壁門院輝子崩す〇十月十日定家出家

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

天 〇同廿九日九条の廢帝崩す
五月定家新勅撰集と撰て進す
〇同廿九日九条の廢帝崩す

山江三三
阿比受
山江三三
阿比受

仁 二月十七日相繼冬三月七月權
大納言と任す〇十月三日北白河

三 三月十日道家抄改と近衛此親
繼よゆつ〇四月九日家隆死す

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

二 二月廿一日春日の神木久り多の
十月廿三日從二位家隆出家

延應三年

乃院崩す○同四月松殿師家逃去○同十二月頼朝鎌倉より

延應三年 正月十九日長平出家○二月廿二日巳亥 三

應元 後鳥羽院隠岐より崩す○正月廿二日 四月廿二日 四

仁治 正月廿四日北条時房死す○十 厚子 繁重馬仲虎編年 四

治 二月兼経相国となり 互見と作ろ

二 正月五日帝崩入服○八月廿二日 平正 十一月元比太宗崩す 濠

家死す 宗元 院事と治む 祐

三 正月九日帝崩入服○二月廿二日 重実 元比朝樞官と稱す 二

宗元 崩す同日廿二日 山山隠れ各とす

○六月十五日北条泰時死す孫乃経時家督とす○八

月実氏乃娘婿子と中宮とす○九月十二日 頌徳院位譲りて

崩す○十月十六日 十一月十二日 大志やろ

元元 八 後嵯峨 帝 崩 仁 家 乃 後 寿 卯 三

乃院通子と即位なり四年○六月十日久仁親王いみじ

八月十日立て太子とす○元禄六年まで四百五十一 年とす

二 二月頼朝入服和親和親と稱 甲辰 四

二月廿九日西園寺公経逝去

三 三月尊皇いづ○七月五日 乙巳 四月杜範死す 五

正月廿九日位をたふす三 丙午 九月元比定宗乃元比 六

月十日即位一条比実経移政し

乃子なり七月位を即

乃の○三月北条時房推す

○九月宋の孟珙死す 七

特頼入讓り四月朔死す

宝 八 後深州 乃院も常盤井

乃院も常盤井

丁未

八月宋乃長文德 七

七

<p>の院もいふ出家の後法名素実。先帝才二氏皇子母也 西園寺実氏之娘。大官の院。姑子といひ位は在りし十三年。○正月 近衛の兼経。栴波とあり。○三月十日由比の濱。潮。赤して血 た。○六月五日三浦の泰村。先村。亦五日。余人。法花堂。自害</p>	<p>申 元乃定宗崩す大府。 母の事と活む</p>	<p>二 六月十一日相模河。赤して紅乃舟 同十五。常陸。雲。○九月十日津 輕の海。人の形。れ。と。かつ。天魚死す</p>	<p>八</p>
<p>二 五月七日源氏具実。大府。任す ○土月五日。通良。大。任す</p>	<p>良成 八月。周。伯。弱。三。体。詩。十 と。撰。ふ</p>	<p>長 五月廿七日。值仁親王。ひ。れ。ま。ふ 二月。閑院。の。重。盛。坐</p>	<p>九</p>
<p>三 六月廿七日。閑院。所。内。裡。造。治。台。成 ○十月廿七日。友原。の。為。家。死す</p>	<p>十 ●大元。四。才。憲。宗。此。元。太。二 祖。乃。孫。乃。六。月。位。よ</p>	<p>二年七月 兼嗣任</p>	<p>十二</p>

<p>四 正月廿七日。鎌倉。の。海。の。波。赤。し。七 血。れ。○四月朔。宗。尊。親。香。録 倉。著。て。征。夷。大。将。軍。也。官。旨。と。家。乃。龍。乃。将。軍。和。尉。宗。よ ろ。○十月。兼。経。乃。と。と。兼。平。栴。波。と。なり</p>	<p>十三 の。后。と。あり。す</p>	<p>五 正月三日。帝。即。入。服。○十月。北。条 特。れ。建。長。寺。と。あり。蘭。溪。院 山。と。あり。廿五日。く。成。す</p>	<p>十四 正月。宋。太。祖。十。一。世。乃 孫。王。政。と。皇子。と。一 名。と。孫。と。あり。す</p>	<p>六 十一月廿一日。足利。氏。死。す</p>	<p>十五 甲寅</p>	<p>七 三月十日。北。条。重。時。出。家。○八月。西。辰 十日。經。死。す。○九月。廿四日。賴。朝。死。す。○土。月。時。賴。枕。權。と 時。宗。よ。ゆ。つ。り。て。出。家。一。最。明。寺。道。宗。と。い。ふ</p>	<p>十六 乙卯 三月。あり</p>	<p>八 三月十日。北。条。重。時。出。家。○八月。西。辰 十日。經。死。す。○九月。廿四日。賴。朝。死。す。○土。月。時。賴。枕。權。と 時。宗。よ。ゆ。つ。り。て。出。家。一。最。明。寺。道。宗。と。い。ふ</p>	<p>十七 丙辰</p>	<p>九 三月十日。北。条。重。時。出。家。○八月。西。辰 十日。經。死。す。○九月。廿四日。賴。朝。死。す。○土。月。時。賴。枕。權。と 時。宗。よ。ゆ。つ。り。て。出。家。一。最。明。寺。道。宗。と。い。ふ</p>	<p>十八 丁巳</p>
---	--------------------------	---	--	--------------------------	------------------	---	------------------------	---	------------------	---	------------------

二倍叙

二年七月
兼嗣任

正 正月廿九日西園寺実氏の娘と
嘉 中宮とす。○七月五日景明門院
崩す。年八十七。○同廿三日地震

己 八月元乃憲宗崩。子
と優て東勝河より至る河
氷てきて、覆ハ平地
河ふじがどし

二 四月十七日山徒神輿とありて國
城寺此戒壇とあり。○八月七日
恒仁親王と太子とす

辛 十月宋北解。号と優
て房州とて戴ふ元乃
平。年六

正 三月八日大宮の院。權國寺とて
一切経の供養とあり。法皇幸。○五月四日近衛北兼経逝去
○十月廿六日位と太子と禪り。法皇十月廿八日即位。鷹
司。相國兼平。慶自とたり

己未 七月元乃憲宗崩す
相慶

文 八 龜山院 諸ハ恒仁。禪林寺
九 院と子出家乃姪

●大元五世禪中経元
憲宗北兼経なり。四月位
定

法各金剛源老帝此米なり。位
と在。十五年。○正月六日山徒九
社の神輿と奉て三井寺の戒壇とあり。つとふ。○四月十二日院の源
聖とる。○十月十五日大華會。元禄六年まで四百廿四年。つとふ

一 序。○六月宋。權美
子とす

張 二月八日西園寺公相の娘と中宮
とす。○四月二条の良実。再。慶自とたり。○十月三。元茶。重。死

二

二 十月廿八日鶴書上人。述化

壬戌 大元と頼朝よりなぐす
三

三 十一月廿二日最明寺時頼死す

癸亥 元。姚。樞と中。左。丞と
四

文 七月四月集野いづ。○春日此神木
入浴。○八月廿一日北条長時死す

甲子 大元。至。元。○十月宋の
五
理宗。崩す

二 四月廿三日伏見院生。○同四
月一条の実経。慶自とたり。○十

乙丑 才。度。宗。諸ハ權。理。宗。
乃。姪。なり。在。源

二月十四日 琴皇いげり

位十年

三

二月朔。泥ろ。三月廿七日。車花院。百寅。遼誓の供養。六月廿三日。將軍宗吉。北条時宗と討んと謀り。寛元七月。京より。同廿四日。惟康。征夷大將軍に任じ。

二

四

十月十二日。西園寺公相。逝去。○十二丁卯。月朔。世仁親王。いり。○同九日。近衛基平。殿自しり。

三

五

八月廿五日。世仁親王。を子しす。○戊辰。九月。蒙古の阿木剌。十月五日。後嵯峨院。飾と落し。宋の襄陽と國じ。

四

六

六月七日。常盤井八道。相國。癸巳。二月。元。新。き。宗。河。氏。逝去。

五

七

四月廿日。東寺。塔。な。ろ。○十月十日。庚午。二月廿日。惟康。源姓とあり。

六

八

三月廿七日。師忠。大。臣。轉。師。辛未。十月。蒙古。國。改。て。大。元。と。な。り。

七

九

二月十五日。六。ら。北。乃。方。義。宗。鎌。倉。の。早。馬。と。得。て。南。の。方。に。押。し。せ。時。輔。と。討。殺。す。○同。七。日。後。嵯。峨。院。崩。潰。壽。五。十三。五月。宋。の。李。庭。芝。張。頰。と。張。貴。と。使。り。襄。陽。を。救。ふ。二。人。も。元。の。軍。に。た。り。て。死。す。

八

十

五月五日。九。条。忠。家。殿。自。し。ろ。○癸酉。二月。宋。の。呂。文。煥。元。に。降。参。す。

九

十一

正月廿六日。位。を。子。し。禪。の。三月。甲戌。七月。度。宗。崩。す。十六日。即位。関。白。忠。家。攝。政。と。なる。○六月。一。条。家。経。攝。政。と。なる。○八月。朔。前。の。將。軍。宗。尊。死。す。○十月。五。日。蒙。古。の。兵。船。對。馬。に。來。り。武。士。拒。戦。蒙。古。敗。軍。し。て。ろ。○十月。十。八。日。大。嘗。會。○十二月。十四日。西園寺公基。逝去。

十

等十月
後
上
九
十
十
十
十
十
十
十

七年
七
七
七
七
七
七
七
七
七
七

建治

十九 後宇多

諱ハ世仁。大覚寺と号す。先帝北皇子。

乙亥

七 恭宗

諱ハ昌度。宗北子なり。

徳祐

母左大臣実雄乃娘。後京極の院。信子といふ位。在位十三年。出家。乃後法名。金剛性。二月。吉相用。実基。逝去。六月。九月。九条。忠家。逝去。十月。廿二日。鷹司兼平。攝政。となる。十月。五日。崇仁親王。東宮とす。

丙子

八 端宗

諱ハ是度。宗景乃子。在位三年。三月。元伯顔。恭宗と捕て之を。五月。是位よけく。

景炎

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

丁丑

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

三

正月。三日。帝。中。入。胎。四月。廿。日。此。祭。出。家。七月。廿。二。日。真。福。寺。雷。火。を。燒。る。十二月。十九。日。東。宮。元。服。

戊寅

九 衛王

諱ハ景端。宗景乃子。在位。九年。十一月。廿。二。日。真。福。寺。雷。火。を。燒。る。十二月。十九。日。東。宮。元。服。

景端

弘安

七月。廿。四。日。薨。逝。遷。化。大。覚。禪。師。の。号。を。賜。る。十二月。七。日。攝。政。兼。平。薨。逝。白。と。なる。

己卯

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二

五月。四。日。心。懺。の。神。輿。入。浴。同。十。日。熊。野。の。神。輿。入。浴。十一月。廿。七。日。為。氏。統。拾。遺。集。を。撰。て。之。て。す。の。り。

庚辰

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

三

七月。十。日。基。察。薨。逝。遷。化。十月。十六。日。聖。一。国。師。遷。化。

辛巳

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

二月。五月。五日。花山乃院。通雅。逝去。四月。丙子。月。十五日。蒙古の使。杜世忠。亦。長。乃。来り。九月。七日。滝口。て。誅。せらる。十二月。攝政兼平。相国。よ任す。

<p>四 五月廿一日蒙古の兵松五百艘對馬島に渡り軍兵拒戦六月七月朔神代吹て蒙古の船破損一七方の兵五竜山に漂ひ糧絶し三月同七日日本の兵柳井にて討死三人を捕へ八角嶋にて誅す千原。菓青。吳万春三人を殺て国より人を</p>	<p>己 三月諸將死す○八月日本より一兵十万余人の内三つふ三人</p>
<p>五 十月十三日時義逝化○十一月十九日南都の賊討す中納言具房と安藝よみはぐす</p>	<p>辛 十二月宋の文天祥をころす</p>
<p>六 三月十日中納言具房敗没</p>	<p>癸 三月まゝ兵を奔て世日本より</p>
<p>七 四月四日北条時義死す子時義時家督を継ぐ</p>	<p>甲 二月王積翁の時義を世使す道と殺す</p>

<p>八 二月朔後二条の院崩れ三月十七日秋田の城北介泰盛宗景親子逆つて誅せらる</p>	<p>乙酉 六月野御部の田浦棟三と食茶と總管一とを祝る龍水より死す</p>
<p>九 三月春日の朝○圓覺寺の佛光禪師遷化</p>	<p>丙戌 正月勅して日本より三とやむ</p>
<p>十 六月北条時義逝化○八月十日二條の師忠貞白しりる○十月曾惟康二皇親王を叙す○同廿一日位を東宮のゆづりる</p>	<p>丁亥 三月わづらめて至元二年鈔と天下の領ところふ</p>
<p>正 九 伏見院 才二元皇子母八左大臣実雄の娘女輝山院愷子しりる在り十二年出家</p>	<p>戊子 二月宋の故宮を毀て其をたがす○四月宋の既謝初得とめせとをいころす</p>

のち法名素融○三月三日後伏見院に在り○同十五日帝崩

徳○十月二日後醍醐ひましむ○同廿一日大志やうふ

二 四月十二日近衛の義基自刃す○已止 四月謝枋得死す○玉共

○同廿五日胤仁親王と太子と

盤死す

○八月久我の基真相国に任す○九月七日龜山院の節と

落し 隆法に諱ハ金剛源○同九月十日曾将平惟康上

浴○十月十日久明親王鎌倉より下り十月九日征夷大将軍頼朝

三 二月十日後深州の隆節と落し 庚寅八月地震廢死す○和若

隆法の諱ハ素宗○三月三其

七千余人庫四百余間

夜淺原八郎為頼親子三人

破る民の屋此破損

紫震殿より入て自害す

勝てかどふべからず

四 五月廿七日九条北条教康自刃す 第 五月刈田とあせども

○土月廿五日西園寺実基相国に任す

くさす

五 土月二条北条朝内府に任す 壬辰 荒

秘 二月廿五日近衛の家基再自刃す 癸巳 四月刈田死す○十月 北

カク○四月十三日鎌倉大地震廢

禁はへたり

死する者万余人○十二月十一日一条の家経逃去

二 七月十二日東大寺に八幡入浴○十 甲午 正月世祖崩す曾孫 世

一月廿九日二条北条の慶自所忠

本兒佐と居く○十二

出家

月伯顔死す

三 十二月十九日東大寺の八幡久 乙未 成宗 世祖の孫也 貞

○同廿五日胤仁親王と太子と

在位十二年

後念 歸 九月病死三十五

四 六月十九日慶白家基逃去 丙申

妙寺と号す○七月廿四日鷹司北条義忠自刃す

五 五月廿五日花園院の節と落し 丁酉 正月大寺五雲山に葬 徳

十月十三日相国北山北条より幸

一 徳

年代紀 卷之八

六 三月十六日中納言為兼、隱謙の戊辰正月大廟の牲を奉りて

二月廿一日佐渡の流して七月

廿二日位下大子みゆづりまの八月

月十日邦治親王と東宮守の十月十日即位十月廿日大嘗會

二 九月 諱八瀧仁。先帝此

二 後伏見 皇子が永福門

際、慈乃敏矣。護経氏也。經

子と、後在りて三年、出家の

後法皇。行賞の六月、洞院の公守。相国に任ず。○同月

西園寺実兼。出家の十月、二系此兼基。相国に任ず。

二 正月二日帝。元服の十二月、春、厚

具福寺供養の奉りて。○同十

六日、二系の兼基、御自とたり

三 正月廿日位と東宮を譲り、三月廿日卒也。八月、禁仰い、げらる。

四月即位。○六月二日、中門乃定實。相国に任ず。○八月廿日、北系

貞時。出家。執權と従才、此師時。譲り時村と、しな、留。○同

廿五日、富仁親王と東宮とす。○十一月十八日、大志やうと

九 後二系 諱八邦治。後宇多

才、此皇子。母八、大

臣具守の娘。西花門院基子と

子位、在りて六年。○十月廿日、太

政大臣定実。出家。○元禄六年まで、三百九十二年よとよ

嘉 二月四月為兼。赦れ佐渡より。○

元 高時。じまろ。○十二月廿日、尊治

親王。元服

二 七月十六日後深州院崩沖。壽

甲辰 正月災わらる。民乃

八

正安 西園寺 実兼 出家 十月 二系 此兼基 相国に任ず

六十二〇十二月十九日為世。親後撰集と撰てさく

隠と恤と刑罰とんぶ

三 四月十一日九条乃師教。願能くなり乙巳二月天壽万寧寺と建九

〇七月徳大寺公教。逝去。〇九月十五日龜山乃院。崩。天壽万寧寺と建九

〇三月霜よりて案と殺す

高氏ひまろ

徳 十二月一条の美家。相国に任ず 甲 二月沙羅より人馬にかく死す 十

二 七月廿六日後宇多乃院飾と了未 才 武宗 諱ハ海山。成宗此見。春來 十一

麻八郎乃子りり在位五年。〇正月成宗崩す五月位に即

慶延 九 花園院 諱ハ富仁。萩原院 戊申 六月李邦寧と相国に任ず 大

此皇子母ハ左大臣実雄の娘。願親乃院季子と云位に在り。十一年出家乃後。法名遍行。〇七月十九日將軍久明。上洛。久明乃子守邦と鎌倉の主とす。〇八月廿五日後二条院。崩。天壽万寧寺と建九。〇九月十九日尊治親王と東宮とす。〇十一月十日鷹司左大臣冬平と相国に任ず。〇同十六日即位

二 十一月廿三日大志やう乙巳酉 六月洪水山くづれ民舎と壊る。二万余人と死者三千余人 三

三 四月七日兼教。從一位に叙し大臣に任ず。〇十二月十五日冬平。相国に任ず

鷹 正月三日帝。沖服。〇三月廿日卒。亥 正月武宗。崩す 四

長 大炊乃河内信嗣。逝去。〇八月廿日西園寺乃公衡。出家。竹林院と号す。〇十月廿六日北条貞時死す子北高時つぐ

鷹 正月三日帝。沖服。〇三月廿日卒。亥 正月武宗。崩す 四

正 三月廿四日為兼。玉葉集と撰
てさぐぐ。○同廿九日前乃相国基
忠。逝去

季 才 八仁宗 諱ハ云月
黎技カ八達 慶
武宗此とさかり在位

和 十年○五月諸王上農時と出獵して民と擾ると禁ず
二 七月九日先嚴院。生し。○同十二癸丑
日近衛北家平。慶自とたり。○十
月十七日伏見乃院。飾と落し
多法の諱ハ素融

三 正月廿四日兩上皇。石清水。孝
四 七月十八日北条相時死す。○九月乙卯
廿二日鷹司冬平。閑白とたり。○同廿五日入道公衡。逝去
五 正月十九日前の内府具平。逝去 辰
○八月廿三日二条道平。閑白とたり
十二月碩徳八朝と
を子とす

二 二月廿六日位と東宮。讓多。○三戊午
二月金字此仙經と写
五
月九月邦良親王と東宮と。○同
九月即位。○六月廿五日近衛の經平
逝去。○十月廿二日大宰會。○十一月廿九日一条北内經。閑白とたり
玉謀て乱とたり。誅せらる

效 三月十六日高時相模守と任と。○丁巳七月泰別乃成紀出く
保 九月言伏見院。崩。壽五十三
二 二月廿六日位と東宮。讓多。○三戊午
二月金字此仙經と写
五
月九月邦良親王と東宮と。○同
九月即位。○六月廿五日近衛の經平
逝去。○十月廿二日大宰會。○十一月廿九日一条北内經。閑白とたり
玉謀て乱とたり。誅せらる

應 九 後醍醐 諱ハ尊治。後宇多 己未 四月鉄木迭見と太子
乃院師繼の養子。諱天門院忠子と。子実ハ忠義忠繼の
娘なり。位と在し。十三年。○四月十九日為世。統于載集と
撰。○八月七日西園寺実兼の娘と中宮とす。○十月十八日
通雄。相国と任す。○元禄六年まで三百七十五年とよぶ
二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二 七月七日九条の師教。逝去 庚申 正月帝崩す

二月八日前の右大臣公顯。逝去○
 十月廿三日光明院。先皇○今年
 大旱。勅して粟を出し民を
 賑し記録所と置て三づらう
 詔とききまふ

二月八日 青
 九 英宗 詔八碩徳八朝
 仁宗の子なり
 在位四年 治

二月廿九日藤原の冬氏。心大臣
 任す○八月十日房実左大臣
 轉ト兼季。右大臣任ト冬
 教。心大臣任ト

三月廿九日九条の房実。郎白と
 心○十月九日鷹司冬平。再
 相国任す

正月九日三條の公茂。逝去○青
 甲子 才 定帝 詔ハ也孫鉄木
 十四日 定 見。顯宗の子 定

六月廿五日後宇多院崩。壽五
 十八日九月廿三日帝。密謀。覺レテ收。時ト舟比の國長と云る也

二月廿九日野の資朝。同く後基。鎌乙丑
 倉。召捕る。七月後基。辰洛。資朝ハ佐渡。なるる。○十
 月二日為定。統後拾遺集と撰小○十一月二日一条の内經。逝去

三月十三日高時。出家。法名。崇
 鑑○同廿日東宮。薨る。○同廿日
 田。のり

二月十九日。親白。冬平。逝去○二月
 丁卯 皇子。允丹藏ト。智
 泉寺。之。戒。と。う。く。

二月廿四日。量仁。親王。東宮。とす
 西。賢。十月。大天源。延聖。寺。よ

三月十四日。前乃。將軍。久明。逝去
 成。辰。一。明。宗。詔。ハ。和。世。珠。
 武。宗。ハ。子。なり。和。致。

十月十四日。前乃。將軍。久明。逝去
 成。辰。一。明。宗。詔。ハ。和。世。珠。
 武。宗。ハ。子。なり。和。致。

十月十四日。前乃。將軍。久明。逝去
 成。辰。一。明。宗。詔。ハ。和。世。珠。
 武。宗。ハ。子。なり。和。致。

七月定帝崩す二十
文宗
八月熱帖木兒迎て位に居る
天

十二月十日久我の通雄逝去○同己巳
二月明宗使に於り
二月
文宗と太子に八月

二月廿六日近衛の經忠郎白とる厚平
二月明宗太子懿璘
質班と都王とす
二月
文宗來てまんの同月帝より崩す明宗と号す

三月南都北嶺より幸し高
質班と都王とす
二月
時とすことと謀る○五月山觀文觀忠山鏡倉より召とる

七月七日大地震○八月花城院幸来六月兵澄死す
二月
弘師賢帝と伴り敷山に登る廿七日笠置に潜幸。近国

の武士守護す○九月十日楠正成赤坂の城またて
二月
こもる○同廿日大上天皇の勅より東宮踐祚○同晦

笠置の城に逃る○十二月五日先帝より入河○同十八日明宗

九 先嚴院 一此皇子母の廣義
十 寧宗 諸公懿璘質
三

門院寧子より左大臣公衡の娘
廿七日
廿月帝位に居る○十一月

帝を隠岐の宮に佐と法
院を讃岐に遷し奉る○四月三日正成赤坂の城に於り○五月廿

一日正成夫守より隅田高橋を討破る○六月二日資朝佐渡に
て誅せらる○十月八日關東の大軍上洛す○十一月今出川兼

季相國に任ず○同十二日大嘗會○元禄六年迄
二月
二月 鄭東の繁赤坂の城を野
の城を攻落し諸軍を以て

二 二月鄭東の繁赤坂の城を野
の城を攻落し諸軍を以て
子有り在位此六年○十

二 二月鄭東の繁赤坂の城を野
の城を攻落し諸軍を以て
子有り在位此六年○十

松平の起ち、播磨、丹波、会合。三月、一月、新田、北条、足利、地、さ、る

月十一日赤松京と交る。月廿四日先帝、隠岐の国と懸びい
で伯耆、大守、幸。四月二日赤松、京と交る。同八月、
種忠、京と交る。同十六日高氏、京と交る。同廿七日、
我、合戦、名越、高家、討死す。高氏、官方、なる。五月
七日高氏、赤松、ホ、六、とら、攻、や、ぐ、八月、北条、仲時、時、益、并
、從、親、江州、番馬、を、自、害、す。同十日、新田、義貞、上
野、を、て、兵、と、わ、ぶ、る。同廿二日、義貞、鎌倉、を、去、り、高時、東
勝、を、て、自、害、す。一、勝、の、こ、ら、す、云、ふ。六月、五、先帝、洛、を、入、
位、の、後、も、年、号、を、弘、く、入、新帝、を、作、り、者、北、官、位、と
解、同、廿、六、日、後、伏、見、方、院、飾、を、落、し、も、法、の、講、八、行、竟、
八月、五、日、高氏、從、三、位、を、叙、し、尊、氏、と、改、じ、
并、も、顯、家、與、列、を、得、る。十月、廿、日、高氏、親、王、源、氏、を、討、死、す、

武建

後醍醐 正月廿三日、但馬親王、甲戌、正月、洛、を、入、り、衣、の、二
後醍醐 在、子、を、
崇光院、生、し、
鎌倉、を、流、し、
二月、廿、日、

崇光院、生、し、
鎌倉、を、流、し、
二月、廿、日、

二

七月十六日、相模、次郎、時行、鎌倉、を、去、り、
と、交、り、直、義、成、良、と、真、し、て、鎌倉、を、退、ぎ、
官、を、裁、す。八月、二、日、尊、氏、勅、を、奉、り、
合戦、十九日、時行、敗、軍、す。十月、十一日、
任、す。同、十九日、一、官、尊、良、親、王、并、り、
進、奈、と、同、廿、二、日、花園、院、飾、を、落、し、
廿五日、矢、野、殿、坂、合、戦、直、義、敗、軍、す。
作、下、七、合、戦、官、軍、敗、北、
尊、良、義、貞、既、洛、を、

三

正月十日、大渡、山崎、合、戦、官、軍、や、
丙子、正月、宿、松、地、震、し、て、

少くとも坂本より幸。内裡焼る十一

嶺さくろ

日尊氏京よ入る。○十二月良親王源の躰を殺す。○坂本より幸。十六日三和寺合戦。官軍勝る。○二月二日帝。都へ還幸。○三月廿九日。年号と延元と改む。○四月廿六日。伏見院崩潰。○五月廿五日。淡川合戦。正成討死す。○六月廿六日。大早と率。筑紫と出。○七月十三日。東寺合戦。○八月十五日。光嚴院の詔より。豊仁親王。建武と復す。○十月十日。良親王。金ヶ嶺に籠る。○十一月廿四日。後醍醐帝。潜よ。一のよ幸。

四 九 先明院 諱 豊仁 後伏見才了 世十月 謀 讒 死す 三
七 光嚴院の詔より 豊仁 親王 建武と復す

三月六日。金堀の城。○四月五日。新田義興。自害。○五月。新田義興。北条時行。鎌倉と攻る。足利義詮。敗れ。○六月。新田義興。自害。○七月。新田義興。北条時行。鎌倉と攻る。足利義詮。敗れ。○八月。新田義興。自害。○九月。新田義興。北条時行。鎌倉と攻る。足利義詮。敗れ。○十月。新田義興。自害。○十一月。新田義興。北条時行。鎌倉と攻る。足利義詮。敗れ。○十二月。新田義興。自害。

四

二月。良親王。源の躰を殺す。○三月。良親王。源の躰を殺す。○四月。良親王。源の躰を殺す。○五月。良親王。源の躰を殺す。○六月。良親王。源の躰を殺す。○七月。良親王。源の躰を殺す。○八月。良親王。源の躰を殺す。○九月。良親王。源の躰を殺す。○十月。良親王。源の躰を殺す。○十一月。良親王。源の躰を殺す。○十二月。良親王。源の躰を殺す。

五

三 敵 後村上

諱 後良 後醍醐天皇 二月伯耆國山陰郡石見郡

辰

二月伯耆國山陰郡石見郡 乃死す

六

四 正月十四日 二条の御所 遷都

正月十四日 二条の御所 遷都 彦

彦

三月大同 飢饉 して 二月 朔

二

三 九月廿三日 直受 從三位 叙す

九月廿三日 直受 從三位 叙す 甲申

甲申

十月 民 して 粟 乏

四

二 四月十日 公賢 左大臣 叙す 良基 癸未

四月十日 公賢 左大臣 叙す 良基 癸未 三月 朔 して 遷 史 録

三月 朔 して 遷 史 録

史 録 史 録 史 録

三

一 八月廿九日 天龍寺 此 供養 終 畢 終

八月廿九日 天龍寺 此 供養 終 畢 終 乙酉

乙酉

五月 變 死す

五

二 敵 朝 元年 二月廿九日 一丙戌

元年 二月廿九日 一丙戌 九月 郡 武 地震 して

九月 郡 武 地震 して

鼓 乃 如 竹 声 あり

六

三 九月十六日 自民基 左大臣 任す

九月十六日 自民基 左大臣 任す 丁亥

丁亥

正月 越 也

七

四 九月十七日 楠正行 藤村 任す

九月十七日 楠正行 藤村 任す 戊子

戊子

八月 慶 伯 生 死す

八

五 九月廿七日 位 東官 禪 多 直 仁 親 王 東官 任す

九月廿七日 位 東官 禪 多 直 仁 親 王 東官 任す 十月 廿 二 日 公 賢 相 國 任す

十月 廿 二 日 公 賢 相 國 任す

十一月 廿 六 日 住 吉 合 戦

九

八 九月廿九日 崇光院

九月廿九日 崇光院 諱 崇 仁 光 嚴 院

諱 崇 仁 光 嚴 院

四月 張 氏 殺 野 子 七

九

院秀子より内膳公未の娘より
位よ在り三年出家の後法名
勝月心○正月五日累糸繩手入氣正

暴の長安尺を腹腫
て人としてハ笑々怒よ
クあり布袋れど

行討死す○同日南帝賀名生よ奉○二月廿七日清水や
くろ八月直茂師直と謀んとす尊氏師直より直茂と
攻るはおよ和睦して上秋島山と越前よなす○十月廿三日
灸詮鎌倉より上洛○十二月八日直茂出家法名真源

應觀

六月廿日附恭親王出見此三
夏六月廿日附恭親王出見此三
角よりつ○八月十三日尊氏の未子
直冬肥後と謀反す十月十三日謀反のさめ尊氏師直を
いづ○十二月十三日直茂吉野よ降参す

二

正月七日直茂ハ備前を陳す十五日
辛卯五月朔福海社御
年并り直茂洛より直茂退
紅巾と号こし頼川

和文

九 後光嚴

九 講八弥仁崇光院の
才なり位よ在り世

壬辰 正月徐秀野兵九の士
列々とにこす

年○正月五日尊氏鎌倉へ○二月廿六日直茂死す○閏二月十

て難山よ至る十六日尊氏父子まで
京より十七日高乃師冬甲列極
沢の城よ自害す○二月三日尊
氏播引先明寺と攻る十三日先明
寺よ去て兵庫よ向ふ十七日小清水合戦尊氏敗取す松
野の城よ入る廿六日尊氏直茂和睦して上洛一師直師泰
と誅す○七月晦日直茂越前よ参る○八月十八日尊氏直茂
と江別よつ○十月七日直茂註南朝降参す京方よ正平
六年と用ゆ月ハ雲客賀名生よ参る○同晦日陸奥山合
戦直茂討負る○十二月廿七日直茂尊氏よりうらん

と陷す○九月徐秀野
新水縣と黄別とと陷
一 新水と都と僧
一 帝と称す

九月南帝八幡ノ幸廿日京ヲ攻ル美詮近江ヲ落行同日武列小手差原合戦廿八日笛吹峠合戦三月十七日美詮八幡ヲ攻ル五月十日南帝賀名生ノ入り八月八日光嚴院飾ヲ落シ法ノ講勝光智十七日帝感祚同廿六日山名及テ國ヨクク○十二月廿八日光明院飾ヲ落シ法名真常惠

二月九月山名時氏師氏吉良石季巳堂和田楠都ヲ攻ル十二月美詮帝ヲ伴ヒ美濃ノ垂井ヲ落ル○九月廿一日美詮帝ヲ伴ヒ既洛○十二月廿七日帝即位

五月張士誠自毛ヲ稱ト○帝西僧秘密ノ法ヲ傳授一運氣ノ術ヲ行ヒ天魔ノ舞ヲ以テ何ゾ

十一月十一日大嘗會○十二月南院飲氣直冬小洛ノ入り廿四日尊氏帝ヲ伴ヒ江列武佐

正月汴梁城ノ東汴河ノ氷五色○七月郭元帥ヲウケテ

よゆ

陽王と稱す

二月四日尊氏東坂本ノ陣一神南合戦八日帝山ノ幸京合戦三月十三日官軍都ヲ退ク同廿八日尊氏帝ヲ伴ヒ洛ノ入り

二月朔福通韓林兒ト帝ヲ國ト宋ト号シ年号ヲ龍鳳トシ○六月大明太祖兵ヲ起ス

文

七月廿一日源ノ通稱大野ノ任

十月火ノ如クなる星ハ地ノ震落テ声ワリ忽チ狗ノ頭トシクナリ石トナリ

二月十八日光嚴院光勝院出宗光院賀名生ヲ還幸○九月十日新田美貞武列夫川ヲ討ル

八月張士誠元ノ降参ト○元ノ歐陽玄死ス

三月四月天竜寺ノ入○四月廿九日尊氏逝去○十二月十二日後醍醐生

十二月大明の忽元ノ克テ諸列ヲウケ

十八

十七

十六

十五

十四

十三

八月十八日長詮征夷大将軍に任ず。同元見九条の經教。奥白

四月廿一日為定。新千載集とさぐぐ巳亥 十九

○土月南方。金剛山。奥觀心寺。皇孫す。○土月廿二日長詮南方を突向

五月十一日紀伊合戦。○四月廿九日庚子五月陳交諒。徐秀輝 廿

毫泉寺。平定乃城と攻後早。○五月三日赤坂の彼と攻後と廿八日義

註。既洛。○七月十六日仁木長長。謀 大長と子

死して伊勢。後ゆ。○八月四日島山道誓。びそり小東よりへる

康 六月廿二日季少。○九月廿三日細川 辛七 八月明乃太祖。漢とらつ廿一

清氏。南方を降参す。○十月九日近 陳交諒。武昌よりへる

安 衛比道嗣。奥白とさぐ。○同廿三日道誓。死して伊豆の依禪寺に

籠る。○十二月七日細川石堂。和田。楠。京と攻る。八日長詮。江州

武佐よゆ。廿六日官守。南方よりへる。廿九日長詮。洛よりへる

貞 正月十四日細川清氏。阿波に渡る 壬寅 四月長星のけり。形。線。廿二

治 七月廿四日讚岐。細川頼之と討 廿一 長と数。十丈

る。○九月二日基氏。官根に陣す。十日道誓。降参す

二 正月廿八日長詮。權大納言に任ず 癸卯 正月明玉珍。帝と称 廿三

○六月廿七日二条北良基。再。奥白 一 国と天夏と号。天統

とさぐ 乙巳 五月癸卯

三 春。仁木。山名。武家。降参す。○甲辰 正月明の太祖。国と吳。廿四

四月十四日基氏。從三位に叙す。○同 乙巳 二月漢と云す

廿日為明。新拾遺集とさぐ。○七月七日光嚴院。崩。年五十二

四 三月十日一条の經教。逝去 乙巳 五月癸卯

五 八月廿九日久我の通相。相国に任 丙午 三月太夏乃明玉珍死 廿五

す。○九月廿三日高麗使。出雲の 乃輔林兒。死す。宋と云

国と云く

六 四月廿六日 鎌倉乃基氏逝去。八丁未 大夏 輝元。元乃諸 廿七

月廿七日 鷹司冬通。自自なる。別。明子降冬于大元

十二月七日 多詮逝去。宝篋院と号す。代。百六十年をて

應 四月五日 美満。元服。六月十七日 申 皇太子。太祖。姓ハ朱。名ハ洪

自武別。河越合戦。平一様。退失。八国瑞。元と云。正

〇十二月 晦日 美満。征夷大將軍。月四日 位。即。国と改

任す。子。の標。太子とす

二 九月三日 大凡。鎌倉乃大伝。倒。巳酉 正月 高藤。貞と云。二

〇十一月 亥日 乃師良。自自なる。〇同廿日 鎌倉の氏満。元服

三 南朝 建徳 元。新田 美宗。美治。庚戌 七月 元史と條。七。三

蜂起す。上。秋。小。れ。と。伐。美宗。越。後。元。討。美治。出。封。と。云。三

四 三月廿一日 位。と。東。宮。乃。ゆ。づ。り。あ。辛。亥。六。月。大。夏。乃。明。昇。降。四

五 一 後圓融 乃皇子。母ハ贈左大 梁王。密。云。南。乃。居。五

臣兼 綱乃娘。崇賢門院。乃位。〇七月 琉球国。本。貢。す

二 在。と。十。一。年。〇南朝 文中。元。〇元祿 六年。三。百。廿。二。年。乃。六

六 九月二日 大凡。〇十一月 廿五日 美満。癸 正月 孔子。辛。五。代。乃。孫。六

冬。議。と。任。す。孔。克。表。と。め。す

七 正月廿九日 先帝。崩。崩。壽。七。甲寅 十一月 鍾山。乃。取。露。乃。七

〇三月 美満。菊池。退。治。乃。為。西

国。乃。ひ。乃。十。月。洛。乃。乃。〇十二月 廿二日 帝。即。位

秘 南朝 天授 元。〇十一月 大嘗會。〇十 乙卯 三月 洪武。正。額。と。作。り。八

和 二月廿七日 忠基。自。自。なる。終。乃。〇十一月 井。震。乃。乃。八

秘 南朝 天授 元。〇十一月 大嘗會。〇十 乙卯 三月 洪武。正。額。と。作。り。八

和 二月廿七日 忠基。自。自。なる。終。乃。〇十一月 井。震。乃。乃。八

秘 南朝 天授 元。〇十一月 大嘗會。〇十 乙卯 三月 洪武。正。額。と。作。り。八

和 二月廿七日 忠基。自。自。なる。終。乃。〇十一月 井。震。乃。乃。八

秘 南朝 天授 元。〇十一月 大嘗會。〇十 乙卯 三月 洪武。正。額。と。作。り。八

二 四月廿五日大地震

三 後小松の院ひまらふ

四 三月廿四日茂満権大納言よ任す

曆 八月廿五日二条の師範白とたり

二 正月五日茂満。從一位よ叙す。○六月

月廿四日先明院。崩御。壽六十歳

秘 南朝弘元。元。○六月十五日鎌倉氏

德 滿。小岩の茂政。討ん為。死向と。

七月廿日二条の良基。相国よ任す

茂満。内大臣よ任す

二 正月廿四日山名氏清。赤坂と攻落

す。○同廿六日茂満。左大臣とたり。○

四月十日位と幹仁親王よゆづり。相国良基。柄政とたり

○同十三日茂満。小岩の茂政と誅す。○十二月廿八日即位

三百 後小松 一 誦ハ幹仁先帝才一受委

の皇子母ハ通陽門院殿子と云門大臣公忠の娘

カワ位は在し九年出家の後法名。素行智。○六月廿六日

滿。准三官の宣旨と蒙る。○十一月十八日大嘗會。○十二月為重

新後拾遺集と撰てきく。○同廿四日門大臣公忠。逝去

德 南朝 元 甲子

二 八月廿八日茂満。春日よ冬と詔し

東大寺に宝藏とひらく

三 六月十九日新比度自冬と通。逝去

嘉 正月三日帝。元服。○二月七日逝

慶 衛の兼嗣。柄政とたり。○三月十七日近衛の通嗣。逝去

二 三月廿六日柄政兼嗣。逝去。○四月 戊辰 廿一

八日系乃良基。栲政とあり六月逝去。其子。師嗣。慶白とあり

應 七月六日西園寺実俊。逝去。○九月己巳 十月百夷思。偷。奔。貢。廿二

應 十六日。至。滿。高野。よ。矢。之。詣。と。き。げ。て。罪。を。謝。す

應 二月。晦。日。山。名。氏。清。滿。幸。謀。及。身。未。六月。春。籍。と。北。方。の。家。廿四

二 内。野。合。戰。氏。清。う。ら。死。す。校。よ。わ。が。り

三 八月。廿。六。日。相。國。寺。の。供。養。○。閏。月。辛。酉。四月。を。子。豊。ろ。九月。元。廿五

二 日。南。方。と。和。睦。す。南。帝。三。種。乃。友。と。大。孫。と。す。○。高。廉

神。器。と。禁。中。に。渡。一。大。上。天。皇。の。と。改。て。朝。鮮。と。号。く

号。と。受。後。龜。山。の。院。と。号。す。○。十月。晦。日。宗。光。院。飾。と

交。際。し。ま。ふ。法。乃。諱。ハ。勝。山。心。と。有。り

四 四月。廿。六。日。後。山。融。院。飾。と。落。一。癸。酉。漢。の。厨。村。が。庵。と。有。り

多。法。乃。諱。ハ。光。淨。即。日。よ。崩。津。壽。此。六。泉。涌。寺。と。有。り

應 六月。五。日。德。大。寺。此。実。性。相。國。よ。任。す。甲。戌。正月。初。一。て。雞。鳴。岩。南。廿七

承 〇。同。一。三。日。又。赦。じ。ま。る。〇。十月。六。日。一。漢。の。厨。村。が。庵。と。有。り

奈。の。経。嗣。慶。自。と。有。り。〇。十二月。十七。日。美。滿。乃。孺。子。を。持。え。服。一

征。夷。大。将。軍。と。任。す。〇。同。廿。五。日。美。滿。相。國。よ。任。す

二 六月。三。日。久。我。の。具。通。相。國。よ。任。す。乙。亥。八月。湯。和。死。す

〇。同。廿。日。美。滿。出。家。法。名。道。致。丙。子

三 二月。廿。八。日。氏。滿。小。山。の。若。大。丸。と。討。ん。め。古。河。よ。ひ。り。〇。五月。十五。日。実。能。逝。去。〇。九月。三。日。美。持。

次。之。護。と。任。す

四 四月。美。滿。北。山。よ。別。業。と。有。り。今。丁。丑。乃。金。園。寺。な。り。〇。十二月。廿。日。九。奈。の。忠。基。逝。去

五 正月。十三。日。宗。光。院。崩。津。壽。守。成。寅。閏。五月。十。日。太。祖。崩。す。十。廿一

五 〇。四月。九。日。系。乃。師。嗣。と。有。り。慶。白。六。日。孝。陵。よ。と。有。り

とらる。○十月四日鎌倉の氏満。死す其子満兼。家督を承ぐ

六 四月十七日鎌倉御家十九日一巳卯 才 建文帝 諱允文。建文の孫也。

○十二月廿一日大内乃多弘。謀反して討死す
○九月庚辰 正月燕王の兵。薊州を圍む。李遠。降参す

七 五月廿一日九条の経故。逝去。○九月庚辰 正月燕王の兵。薊州を圍む。李遠。降参す

○九月 八月斯波の持詮。奥列して誅せらる

八 二月廿八日。裡。燒る道。美の北。の。才 巳 同廿九日。称光

○三月廿四日。多持。權大納言。任す。○同廿九日。称光

九 五月廿一日伊達乃大膳。大。美。征伐の。才 辛 燕王の兵。薊州を圍む。李遠。降参す

○五月十三日。道。美。大明の。皇帝。又。合。と。承。く。す

○九月五日。奥列。赤城。合戦。○十月九日。新造。乃。内。裏。よ。述。す。多。持。從一位。よ。叙。す。

○十月。日本。貢。す。才 成祖 諱。八。棣。太祖。才。四。子。あり

十 六月三日琉球の船。六。浦。に。流。く。○才 未 三 成祖 諱。八。棣。太祖。才。四。子。あり

同廿四日。相。国。寺。此。塔。雷。火。を。燒。る

在位廿二年。○二月。勅。して。北。平。と。北。京。と。改。む。○十月。日本。貢。す

十一 八月九条の教。願。逝。去。 甲 四月高熾。と。大。子。と。す。○十月。黄河。す。じ

十二 春。天下。飢饉。す 丙 戌 正月。使。と。遣。一。奎。曆。と

十三 万。入。本。源。の。道。を。ぎ。と。ほ。む。ろ。○才 酉 七月。北京。に。宮。殿。を。流。く

十四 二月六日。三。条。乃。実。冬。此。家。○才 丁 亥 四月。帝。此。孫。瞻。基。閣。と。出。て。学。校。を。流。く

十五 月廿四日。多。量。ひ。ま。る。 五

<p>十五 三月八日 道安の北山の館に幸す。○四月廿日 忠嗣。庚子とかり。○五月六日 道安。逝去。鹿死院と号す。九日 大上天皇。号を贈る。かくて辭すと</p>	<p>戊子</p>	<p>渤海の王。其家族を以て來朝す。</p>	<p>六</p>
<p>十六 三月四日 二条。七満基。庚子とかり。廿一日 左大臣。任す。○七月廿二日 鎌倉乃満兼。死す。子の持入。家督と号す。○同廿三日 持入。府に任す。</p>	<p>己丑</p>	<p>二月 北京に幸す。○十月 天竺の火列國。貢す。</p>	<p>七</p>
<p>十七 四月十四日 賀持。高野に矣。○十二月廿七日 庚子。満基。逝去。晦日。二条経嗣。まゝに庚子とかり。</p>	<p>庚寅</p>	<p>八月 何福。罪ありて削害す。○十月 帝。南京に久る。</p>	<p>八</p>
<p>十八 八月廿九日 位と躬仁親王。まゝに卯</p>	<p>辛卯</p>	<p>十月 嘉定の室山。帝に碑の文を授けり。</p>	<p>九</p>
<p>十九 和漢年代紀卷之八終</p>	<p>壬辰</p>	<p>十月 嘉定の室山。帝に碑の文を授けり。</p>	<p>十</p>

